

賑わいの商店街づくり「地蔵尊すくすく縁日・吊るし飾り」

取組に至る背景・事業の目的

中心市街地に活気と賑わいを取り戻すため、平成 23 年度より地域発！元気づくり支援金を活用して県内外の観光客が集客できる観光拠点の整備や定期的な縁日の開催などを通して商店街組合や市民等と一体となった新たな「もてなしの観光都市・駒ヶ根」づくりを行ってきた。

平成 25 年度は、更なる発展として「縁日」を子ども達の記憶に残る祭りとして定着させることや、22 年度より始めた「吊るし飾り」の作り手を増やし、中心市街地の商店ショールームや空き店舗に飾ってもらうことで観光客を街中に呼込むことなどを通して、おもてなしのできる中心市街地づくりを行った。

事業内容

縁日を毎月第 3 日曜日に開催するほか、9 月には定例開催に加えて中心市街地で行われたおいでなんしょ祭りの協賛としても開催することで年間合計で 13 回、通算で 31 回の縁日を行った。

また、出店希望者への貸し出し用としてイベント用テントを 20 張購入し、出店数の増加と会としての経済的基盤の向上を図った。

吊るし飾りの作り手を増やし、吊るし飾り世界一を目指すための吊るし飾り教室を 12 回開催し延べ 250 人近い方々に参加いただき、相当数の作品が出来上がった。9 月に開催された信州駒ヶ根ハーフマラソン大会では、会場に約 4,000 個の吊るし飾りを飾り大好評となった。



【地蔵尊すくすく縁日の様子】

事業効果

縁日の来場者数が全体平均で約 1,000 人となり、昨年の全体平均約 800 人を上回る方にきていただくことができ、市民への浸透が図られた。また、縁日の出店者に地元の商店が加わってくれたり、ガールスカウトやボーイスカウトの方々が応援に来てくれるなど、地域協働の広がりや地域活性化への貢献ができた。

吊るし飾りの作り手を増やす教室は、教室の参加者が新たに地域の先生役となって更に広げるなど、作り手が増えるとともに作品数も増えている。信州駒ヶ根ハーフマラソン大会において約 4,000 個の吊るし飾りを飾って選手へのおもてなしをおこなったことは反響が大きく、2013 全国ランニング大会 100 選に選ばれる一翼を担ったものと考えている。また、地域の交流センターで女性高齢者に作品を作ってもらったことで、交流を深め生きがいづくりの場を提供できた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

縁日については、今後も定期的な開催を続け、幼稚園・保育園・小学生の 3,000 人に毎月チラシを配り縁日への参加を促し記憶に残るものとし、更に多くの地元商店街・手作り作品を作っている方々が出店していただけるよう取組んで行く。

また、平成 26 年度は市政 60 周年と駒ヶ根市の飯田線 100 周年であり、記念イベント等の際には、吊るし飾りで中心市街地や駒ヶ根駅を一杯にするため、地域の方々と一緒に製作を進めて行くとともに、ギネス記録に向かって各地の交流センターを活用しながら地域の活力と賑わいを創造して行く。

【選定のポイント】

地域住民が中心となり、定例的な縁日の開催に加え、世界一の吊るし飾りをめざし精力的に製作に取り組み、信州駒ヶ根ハーフマラソン大会など様々なイベントと連携することで中心市街地の活性化及び観光振興に寄与した。今後も各種イベントと連携することで継続・発展が大いに期待できる。

団体名	あつい！こまがね（駒ヶ根市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	電話：0265-82-6330	事業費	1,832,915円
メールアドレス	hara-ha@cronos.ocn.ne.jp	支援金額	1,247,000円